

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. ペットの同行・同伴避難について</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>10月に総務生活委員会で、熊本地震で大きな被害のあった熊本市と益城町へ視察に行きました。現地のお話を伺い改めて強く実感したのは、発災直後は住民と同じく役所の職員も被災者であり、全ての職員が災害対応に専念できるわけではないということです。大切なのは、そのような状況となることを前提に、どこまでどんな備えをしておくかです。</p> <p>大きな災害が起きた時に、自宅で過ごすことが困難となり避難しなければならなくなった場合の、「ペットとの同行・同伴避難」について現状を把握し、(次ページ)</p>	<p>(1) ペットの飼育状況と災害対策について</p> <p>(2) ペット同行・同伴避難について</p> <p>(3) ペット同行・同伴の避難訓練について</p>	<p>①視察に伺った熊本市の「平成28年熊本地震・熊本市震災記録誌」には、震災で行方不明になってしまった犬や猫の問い合わせが約4カ月間で669件、通常の10倍問い合わせがあったと記録されています。保護されても飼い主のもとに帰れない可能性もありますし、保護されなければ餓死してしまいます。本市でペットを飼育している世帯数やペットの種類、数などの把握はどのようか伺います。</p> <p>②大きな災害が起きた時の大切な備えの一つにペットに対する備えがありますが、ペットの災害対策について市の見解と市民への周知はどのように行っているか伺います。</p> <p>①環境省は、避難が必要となった場合に同行避難を推奨していますが、本市はペットとの同行避難と同伴避難についてどのように考え、飼い主に周知しているか伺います。</p> <p>②本市の指定避難所でペット同行・同伴避難が可能な施設はあるか伺います。</p> <p>①これまで市内で実施された避難訓練で、ペットとの避難訓練を実施した地域もあると伺っています。実施状況や課題、問題点などは把握しているか、把握している場合は、その内容について具体的に伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>市民の要望をもとに改善を求めます。併せてこの質問を通してより具体的に災害時を想定した備えに、市民の皆さんが取り組んでいただけることを願って質問します。</p>	<p>(4) ペットの災害対策としての協定について</p>	<p>②災害時に避難所を運営するのは、市役所の職員ではなく避難者自身です。様々な方が避難してこられた時に、ペットと一緒に避難してきた方々もその運営に携わることで避難所での生活がスムーズに行われると考えます。</p> <p>毎年 11 月に実施する瀬戸市と地域が一体となって実施する総合防災訓練において、ペットとの避難訓練の実施をすすめるために市はどのような働きかけを行っているか伺います。</p> <p>③市民が自主的にペットとの避難訓練を計画した場合、市としてどのような協力が考えられるか伺います。</p> <p>①災害時の備蓄の中にはペットのための食料は含まれていません。飼い主が十分に備えておく必要があると考えますが、長期化した場合は備蓄が底をつく可能性があります。瀬戸市内でペットフードやペットのための日用品を販売しているペットショップやホームセンター等との協定を進めていく必要があると考えます。現在、協定を締結しているホームセンター等はペットのための資材提供も協定内容に含まれているか伺います。</p> <p>②視察に伺った熊本市では 2016 年の熊本地震の際、九州動物学院という専門学校が被災者とペットを自主的に受け入れ、一カ月で述べ 1,500 人受け入れたと報告されています。その後、熊本市は九州動物学院と協定を結び、2022 年の台風の時に二日間で、73 人と犬を 31 匹、猫を 28 匹受け入れています。本市にはそのような施設はありませんが、市内の動物病院との協定を進めていくことが、避難所運営をスムーズにする手助けにもなると考えますが見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>2. 常時介護や医療の必要な方や障害者の避難について</p> <p>【質問趣旨】 常時介護の必要な方や医療的なケアが必要な方、障害のある方は、大きな災害が起きた時に地域にある指定避難所へ避難することが困難な可能性が高いと考えます。 市は、医療法人や社会福祉法人など 20 団体 29 施設と福祉避難所の協定を結んでいますが、福祉避難所への避難は、指定避難所へ避難した後、状態に応じて調整してもらい避難することになりますので、避難が必要となっても SOS を指定避難所へ届けられなければ危険なまま過ごすことになってしまう可能性があります。(次ページ)</p>	<p>(1) 災害時の常時介護や医療的ケア等が必要な方の把握について</p> <p>(2) 福祉避難所について</p>	<p>①本市では、災害時に常時介護や医療的なケア等が必要な本人及び介護者が、SOS を発信できない場合に把握してもらえる仕組みの一つとして、「電子@連絡帳システム(瀬戸旭もーやっこネットワーク)」(以下もーやっこネットワーク)に、災害時支援台帳を取り込んでいると聞いています。もーやっこネットワークとはどのようなシステムで、どのような方の情報が共有されているか伺います。</p> <p>②もーやっこネットワークに災害時支援台帳を取り込むことで、災害時にどのような流れで、常時介護や医療的なケア等が必要な方を発見することができるのか伺います。</p> <p>③被害を最小限に食い止め地域ぐるみで要援護者を守れるようにするために、もーやっこネットワークを活用した避難訓練も実施していると聞いています。どのように行われているか、その方法と課題について伺います。</p> <p>①福祉避難所とはどのような避難所であり、どのような要件があるのか伺います。</p> <p>②熊本地震の記録誌には「福祉避難所として協定を締結していた 176 施設で 1700 人受け入れられるとしていたが、そのうち開設したのは 82 施設、協定外施設が 10 施設の 92 施設であった」と記録されています。災害の規模が大きくなれば開設できる施設が減り避難者が増えることが想定されます。災害時に福祉避難所として協定を締結できる施設を、常時増やしていくための働きかけが必要と考えますが見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>常時介護や医療が必要な方や障害のある方が、災害時に避難が必要となった場合にも、速やかに安全を確保できるような仕組みは整っているのか現状を把握し、「避難すること」「生きること」を諦めさせない体制を整えることを求め質問します。</p>	<p>(3) 常時介護や医療的なケアが必要な方や障害者の避難について</p>	<p>③協定を締結し災害時に避難所となる施設と、災害を想定した打ち合わせや連携はどのように行っているか伺います。</p> <p>④障害のある方の中には、初めての場所や知らない人が多く集まる場所で過ごすことが困難な方も少なくありません。放課後等デイサービスなど「日頃から通っている事業所が福祉避難所になるととても助かる」という声も届いています。また、施設の利用時に被災する可能性もあるため、要件を満たす施設から申し出があれば高齢者、障害児・者問わず、通所施設とも協定を結ぶことは可能か伺います。</p> <p>①自宅が被災し避難が必要となったが、指定避難所までの移動が困難と判断した常時介護や医療的なケアが必要な方は、もーやっこネットワーク上で把握してもらった後は、どのような流れで安全な場所へ避難できるか伺います。</p> <p>②市内には特別支援学校や児童発達支援センター、障害児・者の利用する施設が複数あります。学校や施設利用中に被災した場合、その施設の安全が確保されれば保護者が迎えに来るまで一時的に避難が可能ですが、自宅が被災し帰宅できない場合はどのように本人にとって適切な避難所への調整が行われるか伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 災害への備え	<p>①障害者の保護者から「南海トラフ地震を想定し被害地域に想定されていない地域の特別支援学校や障害者・発達支援担当者など、福祉の経験者やプロを派遣してもらえるとありがたい」という要望が届いています。災害時に親と離れ離れになる可能性もあります。日常とは違う環境が続く場合に、知識や経験のある方によるサポート体制を整えてほしいという願いです。</p> <p>瀬戸市と、地方公共団体間の相互応援に関する協定を締結している市町村との協定内容には「職員の派遣等」と記されています。前述したような具体的な支援を依頼することは可能か伺います。</p> <p>②瀬戸特別支援学校さくらんぼ学園は今後の統合に向けて、校舎や体育館の改修が必要になります。通学している児童生徒の中には吸引器や呼吸器などバッテリーの充電が切れてしまったら命に係わる医療ケアが必要な方もおり、自家発電設備を整備する必要があると考えます。福祉的な役割を担う指定避難所として、早い段階で整備を進めていく必要があると考えますが見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。